

問う

一般質問12議員



吉田 忠道 議員

教育基本法

改正の是非を問う

町長／国会の審議結果を見て
教育長／是非の表明は控えたい

現行の憲法及び教育基本法は、権利主張の条文が多く、義務を課すことが少ない。利己主義、金銭万能主義に走りすぎた戦後教育の成果が、現在の国内状況に望ましくない形で顕在化している。私は、現在の教育基本法は改正すべきであると考え、特に愛国心を涵養する表現を明文化すべきである。

家入町長

教育内容に対する国家的介入は、できるだけ抑制的でなければならぬ。国会の審議結果によってやっていかなければならないと考えている。国を愛する教育は今もやっているし、今後もやっていかなければならないと思っている。

宮崎教育長

教育行政に携わる者は、町民の総意である議会で可決された事項を実践する立場にあり、国会の議決の前に改正の是非を表明することは差し控えている。

愛国心に関する表現について、教育基本法の中にこの言葉を入れるかどうか、今後の継続審議の結果を待ちたい。学校では、学習指導要領に従い、国を愛する教

育は、今も行っている。

現在の社会情勢について、現在の憲法及び教育基本法の影響が大きいという私の主張に対し、どう考えるか。

宮崎教育長

憲法の件については、教育基本法と同様大切な問題であるということであるが、これについても発言は控えたい。



あいさつ運動中

ミニ特区事業は 継続するのか

町長／12月頃までに結論

16年度から3年計画で進めてきたミニ特区事業は、最終年度である。必須事業（防災、環境、あいさつ）の目的は達成されたのか。独自事業として評価できるものは何か。又、今後、来以降もこの活動を継続する必要があると評価しているのか。

家入町長

ミニ特区事業の反省、検討を18年度でしっかりとやっていかなければならない。継続については、12月頃までに結論を出す。必須事業のあいさつ運動、環境活動、防災活動ともに、それぞれ成果を上げていると思っている。

3年間のミニ特区事業を総括し、財政事情を勘案しながら、これからの地域づくりの方向性を出していきたい。



環境美化作業中

地下水の保全是万全か

町長／将来の水がめを
確保していきたい



永田 和彦 議員

わが町は社会資本整備の充実と地下水が豊富であることが、沢山の企業に立地していただいた理由だと思う。

①地下水の保全に関して、どこまでのデータを管理しているか。

②数十万人が住む熊本平野の地下水上流地域であり、地下水の重要な涵養地である大津町。この重要な生命線としての町長の認識は。

③地下水保全是、その地域の責務。町が取り組むべきことは何なのか。

平成8年度から大津菊陽水道企業団が毎日、24時間の地下水位を調査記録している。その他、立野ダム関連の調査、阿蘇の上流地区、下流の熊本市のデータなども把握している。

熊本地域の90万人の皆さんが、この地域一帯における地下水を利用されている。阿蘇の爆発における地形的な条件で大変恵まれた、おいしい水が確保されている。

地下水涵養は大切であり県や関係市町村・団体と、大津町における田んぼの水張り、山での植樹などをやりながら、将来の水がめの確保をしていきたい。



田んぼは巨大な
地下水のダム

町政を

格差社会のなか

義務教育は十分か

教育長／
学力向上と教育条件整備にがんばる

格差社会の拡大が指摘され、所得の格差が教育環境を左右して、経済的

理由から、塾に通えない子と通える子の間に、学力の格差が広がっている。現状の義務教育では十分という答えではないか。教育基本法の目的を遂行するに必要な諸条件の整備に対して、どのような

宮崎教育長

昨年度の調査で小学校から中学2年までは2割程度、中学3年生になると半分以上の生徒が、学習塾に通っている。確かに経済的な理由で、塾に通わせたくても、できない家庭も数多くあると思

部活動は科学的な指導を

教育長／専門家の講習を開きたい

食育が大切だといわれる中で、小中学校の部活動でお腹がすいたまま激しい運動をやるのは、食育以前の問題ではないか。

宮崎教育長

確かに大きな体をした中学生が、空腹のまま部

う。

義務教育は「人格の完成・全人的な教育」が目的であり、学習塾と性質が違うが、学力の向上は私の一番の仕事である。そのために諸条件整備の充実にがんばっている。

例えば、学習支援教員を町独自で10名ほど雇い、小学校の3年生、4年生を中心に、中学校では英語力の強化で2人ほど配置している。

その他、学校独自で受験対策など、昔で言う課外指導など先生方も一生懸命指導しているところである。



スポーツは科学的に

活動するのは、間違いだと私も思う。専門の講師を招いて講習会を開く学校もあると聞く。町でも是非、各学校にお願いしたい。

南北道路の貫通を目指せ

町長／総合的な計画で道路整備



新開 則明 議員

南北道の完成を促進して、住民の利便性・商店街の活性化と産業の振興を目ざし、駅周辺の開発に際しては、駅周辺の有

効となる用地やアルコール工場跡地等相手のある相談となるが、町の将来を見据え用地交渉する考えはないか、総合的に考え、駅前築善線もバイパスに貫通できれば将来利用価値が期待できるのではないか。

家入町長

南北道路の幹線道路や支線道路については調査



大津駅南の南北道

し、それに基づいて、今事業を推進している。

都市マスタープランにおいても計画され、その中で商店街に入り込む道路と通過交通に流れて行く道路の役目をしっかりと判断し、商業地域あるいは工業・その他のものを検討しながら道路整備をやって行く。また駅周辺の用地や、アルコール工場跡地についても、重要な所であり、都市計画の用途地域の見直しの中で安ければ検討する。今後は全体的な計画の中で補助事業システムを活用して町作りを進めたい。

残留農薬ポジティブリスト制度について問う

町長／正確な使用法と保管



消毒散布と生育状況

残留農薬ポジティブリスト制度が厳しくなったが、農薬・使用法の指導を誤ると生産者は膨大な損失を負い、農産物の廃

棄処分となるが、栽培品種別の農薬の種類や使用法が栽培者に理解されないように思えるが指導体制は万全なのか。又農薬の保管の方法や使用の可・不可は農薬・栽培人に明確な周知徹底が必要ではないか。

家入町長

法が改正され、大きな

自転車のリサイクル状況はどうなっているのか。

宮崎教育長

全職員で取り組むように、日頃から指導している。いろんな方々と連携を密にしなが、事故が起きない様にしたい。

家入町長

大人については、町独自で、交通安全の一環として、重点目標として取

自転車の無灯火・放置・事故対策

町長／重点目標として取り組む

自転車通学による無灯火・放置・事故対策に対する取り組みが徹底されていないように思えるが、どう指導されているか。

一般社会においても地域パトロール等にも願わくは、安全な走行・管理・事故防止をすべきではないか。回収自転車や放置

問題がこれから起きるかも知れないし、そのために、今農協と行政の方でしっかりと生産者の方に指導をやっているところである。隣接地の農薬の問題は十分指導をしながら将来的には団地の中で農産物関係者と同じように作っている方向にしたい。食の安全については、やっぱり消費者・生産者がお互い理解しながらやっていかなくてはならないと思う。

大塚産業振興課長

劇薬・毒薬の購入の際に保管方法は決められており鍵のかかる保管庫に保管をしないとされている。

り組む方法で検討する。

自転車保険のPSマークは新車は販売店でもかたられている様だがリサイクル車にも今後指導していく。リサイクル車は、環境フェ

アやイベントの賞品として利用している。



自動点滅ライト

企業の協賛などによる子育て支援を

町長／子どもたちの育成を社会全体で支える



月尾純一郎 議員

子育て中の家庭の負担を軽減しようと、買い物や施設を利用する際に、料金割引や特典を受けられるサービスを提供する自治体が広がっている。仕組みのポイントは、地域企業の協賛によるもの。経済的支援と地域における子育て支援の両面から有効な支援策の一つと考えられている。大津町は「子育て日本一」を標榜する町。これまでも子育てに関する多くの事業に積極的に取り組んできた。



子育てはますます大切

大津町は、「大津町次世代育成支援行動計画」というものを作っている。この中で、企業の環境整備と子育て支援を明示している。これに沿ってやっていく。プレミアム・パスポート事業は、社会の宝である子どもたちの育成を社会全体で支えるという理念に基づいた、素晴らしい事業だと思っている。本年度から、熊本県でも「熊本子育てとくとく応援事業」を始めている。できる限り県

18歳未満の子どもが3人以上いる家庭で、申請してプレミアム・パスポートを入手すれば、協賛企業による割引特典を受けられる「プレミアム・パスポート事業」を取り組む考えはないか。又、親子が一緒に過ごせる機会を増やし、子育ての原点である親子のふれあいを深めるための取り組みとして、「ワーク・ライフ・バランス事業」を企業と行政が協力して取り組む考えはないか。

家入町長

に協力して、企業・商店への情報の提供と事業への参加の呼びかけを行なっていく。「ワーク・ライフ・バランス事業」についても、大津町の子育て支援計画に則って、企業連絡協議会等にも相談をしながら進めていきたいと思う。子育て

有料広告を

町の新たな財源に

町長／行財政改革大綱に則って進める

「予算が足りないなら自分で稼ごう」と今、全国の各自治体が財源確保に取り組んでいる。例えば、自治体のホームページを開くと、画面に企業の広告が掲載されている。あるいは、自治体から家庭に送られてくる納税通知書などの封筒にも、企業の広告が印刷されている。税収の減少など深刻な財政難に直面する各自治体が、従来の歳出削減一辺倒から一歩踏み込んで、自ら稼ぐ広告ビジネスに力を入れ始めたと言われている。たとえわずかな財源でも、知恵と汗を出して予算を確保する姿勢が大事であり、住民に負担を強いるだけではなく、職員が努力していく意識改革にもつながる。



ホームページにも広告の時代

家入町長

各自自治体が自主

この様な有料広告ビジネスを、大津町として取り組んでいく考えはあるか。

支援に関する環境整備など、いろんなサービスを考えながら、子育て支援日本一を目指していきたい。的財源確保のために、あるいは経費節減のために、有料広告を各自治体の封筒や広報誌・ホームページ等に掲載することが全国的に広がっていると聞いている。熊本県でも八代市が平成17年度から取り組んでいる。大津町においても、平成18年1月に策定した「大津町行財政改革大綱」の集中改革プランにおいて、経費節減などの収入関係の財政効果の項で、17年度から21年度までの取り組み内容で、町の広報紙、ホームページ、封筒などへの有料広告の導入を検討している。今年度、町のホームページをリニューアルするがその際、ホームページに掲載するバナー広告を検討することになっている。公共性・中立性・品質性など兼ね備える必要があり、前向きに取り組んでいく。



不安だらけの障害者自立支援法（学習会）



荒木 俊彦 議員

障害者自立支援法は障害者と家族を泣かせている
町長／福祉計画で
独自サービスを考えたい

4月から「障害者自立支援法」が施行され、名前から違い障害者の自立を支援するどころか、障害者本人と家族を泣かせているのが実態ではないか。また、施設の経営が苦しくなったり、職員の労働条件の悪化など実態調査、意見聴取の結果と対処を考えているか。

教育基本法改悪は 教育の国家統制・介入

教育長／教育への介入は
歓迎しない・独立のもの

教育基本法の歴史的改悪が進められ、「国家による愛国心の強制」が条文に書き込まれようと

している。政府は改悪の理由として「青少年による凶悪犯罪の増加、拝金主義やルール無視の自己中心主義」などと言っている。ところが、村上ファンド事件で、あぶく銭、一攫千金のぼろ儲けが明らかになったが、こういう制度は今の政府自身が作ったものである。

第10条
(削除されようとしている)
教育は不当な支配（国家の統制）に服することなく国民全体に対し直接責任を負う

国に都合の良い教育は、一歩間違ったら大変なことになる

とを法律で強制することが本当に可能なのか。それで愛が育つと思うか。

③ 現行の基本法は教育に国家の統制、介入を否定している。改悪案は国に都合のよい教育内容を計画し、実行し、点検するとしている。基本法改悪

の最大の問題では。

宮崎教育長

① 基本法を変える根拠については、本当に慎重に検討していただきたい。

② 「学習指導要領」で現在も「国を愛する心情」は指導している。心情を育てることはしても、それを評価したり強制することはできないと思う。

③ 「教育は不当な支配に服することなく云々」については、当然「介入していただきたくはない」独立のものだと今も考えている。

家入町長

今のところ町における障害者の方の施設退去はない。施設経営でも若干、運営費等関係が減額されているが関係者から非常に困っておるということは聞いてない。障害福祉計画で地域生活支援事業を実施、町単独でも柔軟なサービス向上を図りたい。

松永健康福祉課長

町には、障害児施設の「若草児童学園」障害者施設が2つ、通所の「あゆみ園」という施設があり、施設での負担は、食事と光熱水費合わせて5万8000円ぐらいになるが、申請による負担軽減と、障害年金の部分で、最低手元に2万5000円から3万円残るようになっている。

就学援助申請に

民生委員の意見は不要

教育長／早急に検討・対処する

請書から削除するべきではないか。

首藤教育委員会事務局長

町の児童生徒の就学援助者は5年前が約130人、現在は約200人（7・25％）全国平均は全生徒の約13％である。法律では民生委員の意見は不要になった。町の申

とは最近知りましたので、早急に検討、対処したい。



大田黒英生 議員

相次ぐ高層建築物に 何らかの規制は出来ないか

町長／基準法クリアしていれば
法的規制出来ない

高い建物がいくつも建設され、その発展の陰に、泣かされておられる町民の方々がいらっしゃるというところ、忘れてはいけません。高層マンションに住んでおられる方が、上から覗こう



増える高層建築物

という気持ちは毛頭ないかと思われるが、周辺住民の方々にとっては、あまり気持ちのいいものではない。周辺住民の方々に、話を聞いてきたが、まず、日照権を言われた。11月より4月の冬期間は、朝から昼過ぎまで、陽が当たらず、洗濯物を干しても、一日では乾かないことがしばしばで、又風が大変強くなって、冬場は全く陽が当たらなくなって、冷たい強い風が吹き、寒くて寒くて仕方ありませんと強い憤りを持っておられた。

この様に、長年にわたる、住み慣れた町民の方々が、これから先、大変な生活をしなければならぬかと思うと、町も規制か指導しなければ、今後何戸かの建設も聞いている。これ以上不幸な人々を増やさないためにも町独自の規制が必要と思われる。

町長の考えを聞きたい。

家入町長

周辺住民の方々に、今までの景観なり、日照なり風という問題から、新たななかりしれない大きな負担が起きているのは確かである。

今の段階では、県の開

発関係とか、県知事の許可によると、3000㎡以上というような形になっており、町においては平成5年、大津町開発事業等の指導要綱を策定して開発業者協力をお願いしている。開発事業指導要綱とは、造成面積1000㎡以上、あるいは戸数関係が3戸以上の集合住宅、建設面積が500㎡以上の建築物、地上3階建て以上の建築物、宅地化のための造成で、3区画以上のもものを指導要綱として決めているが、これについてはお願い事であって、法的規制はない。

建築主は地元の皆様としっかりと相談をしながら建設をしていた。現在の都市計画法や建築基準法をクリアする建物であれば規制は出来ない。

周辺住民の皆様との話し合いしか出来ないというのが現状である。

廃校の菊阿中、真城小、矢護川小を 町営住宅として利用できないか

町長／町営住宅利用は考えていない

菊阿中も今年から廃校となり、真城小、矢護川小を含め3校の校舎が廃校となっているが、これら校舎を改造して町営住宅としたらいかがなものかと思う。南部、北部の人口減少している両地区の少しでも歯止めになると思うが町長の考えを聞きたい。

家入町長

町営住宅利用は、考えていない。改修費用とか現在の補助金関係等を考えて、起債を借りてそれを扱うという形になれば、相当の金がかかり新たに造った方が条件的にはいいようである。

菊阿中学の利用方法は、我々としては、まだ白紙の状態、今後については地域の中で住民の皆さんと検討しながら、管理の問題、あるいはその後の管理費用等についても十分検討する。



菊阿中学校跡



まわりに家がなくて不安な通学路

美咲野の登り坂の 街灯は万全か

町長／よそより明るい電球を使用している



坂本 典光 議員

大津町は町に人を集める施策（商業地を形成するには人口増が必要）としてＪＲの進める美咲野団地計画を支援してきた。大津町とＪＲ九州は平成２年、大型団地（美咲野団地）開発の基本協定を結んだ。ＪＲが開発区域内の道路や公園、下水道などの公共施設を整備し町に譲渡する。町も公

共施設の整備にバックアップすることが盛り込まれている。さらに町では将来の高齢化社会を見すえ、若年層の増加を図りたい。桜山交差点がまもなく完成する。公共施設を充実させることによりＪＲを支援すべきと考える。

①通学路（上鶴から美咲野まで）の登り坂の街灯は万全か。
②団地内のカーブミラー、防犯灯、一旦停止の標識、白線は万全か。

家入町長

①街灯は地元で区長さんと相談して対応しているつもりである。よそより明るい電球を使用している。

ただ小学生等にとって（まわりに家がなくて）不安な場所なので学区区の変更と兼ねて今後検討する。

②場所によっては一旦停止あるいはカーブミラーが不十分なのは確かである。危険箇所は地元と相談し、整備につとめる。
※大津町において人口増

今後も

子育て先進地であるべき

町長／さらに事業を推進する

大津町の子育て支援事業を見ようと県外から多くの方が視察に来られる町には多くの企業が進出しており、町外から転動してくる若い夫婦も多い。今後も子育て先進地であるべきと思う。

家入町長

月一回以上、県外市町村からの視察がある。病後児保育、ファミリーサポート事業、つどいの広場事業、子育て短期支援事業、一時保育や延長保育は町内すべての保育園で実施している。財政力のある市町村しかやっていけない。今後とも事業を推進する。



子育て支援

につなぐところは美咲野団地しかないの

十分検討したい。

消費者相談室の設置

町長／検討してみる

振り込め詐欺やリフォーム詐欺など消費者トラブルが相次いでいる。熊本市、八代市、合志市は庁舎内に専門の相談員を置く消費者相談室を常設している。大津町も設置するつもりはないか。

家入町長

大津町においてサラ金や闇金融等による多重債務や携帯電話トラブル、架空請求などが目立って増加している。

県消費者生活アドバイザー相談日を年６回くらい設けている。常時相談室の設置は十分検討してみる。



田代 國廣 議員

公私立幼稚園の 保護者負担格差是正すべき

町 長／少子化対策の一環として支援を検討
教育長／幼・保一元化の推進の中で検討

官と民の幼稚園における保護者の負担金は年間公立が約12万円、私立が約30万円となり、大きな格差が生じている。これが妥当な行政と思

うか。是正が必要ではないか。税金を公平に使うという観点であれば、民営化がベストだが、民営化を含めた一元化か。



大津幼稚園

宮崎教育長

公立幼稚園の負担額については、近隣の市町村と比較し、大津町の方が多く負担してもらっている。今後の幼稚園のあり方については、行財政改革大綱の、施設廃止を含

めた「幼・保一元化の推進」の中で検討していきたい。

家入町長

公立幼稚園のうち、陣内幼稚園は定員に達していない状況であり、公私の選択は保護者によるという認識でいた。今後、女性の職場進出による子育て支援、少子化対策の一環として、支援を検討していく。

子育て支援に対する平

等、格差是正の検討をしながら政策を進める。幼稚園、保育園の指定管理者制度導入という形の中で、期限3年を目標に検討していく。



太陽光発電

首長の退職金は高すぎる

町長／退職金条例を検討する

総理の退職金（約700万円）に比較して、地方自治体の首長の退職金は高すぎる。退職金制度に問題がある。町村退職組合に加入しているため本町の条例に退職金に関する条例がない。退職組合に加入しなければなら

ないメリットがあるか。

家入町長 各地方の状況、財政状況を話し合いながら、各町村で条例で定める形にもっていくべきと思っている。退職金が高いというところについては、町村会の退職条例等を検討する中で、各町村で決める方向で考えていく。

公共施設に太陽光発電を

町長／導入を積極的に計画する

環境問題が21世紀の大きな課題と言われて久しい今日、クリーンエネルギーの代表的存在が太陽光発電であり、本田技研工業(株)熊本製作所においてもその生産に乗り出すことは、本町にとって明るいニュースである。本

田技研が大津町に進出して30年、本町の繁栄に果たした役割と功績は計り知れない。今後、量産されるであろう太陽光発電を本町の公共施設等に設置し、環境と企業に対する誠意を併せて表すことは、大変望ましいことであると思うがどうか。

家入町長

本田技研が、この度生産されます住宅用太陽電池は、来年度後半の量産操業開始を目指しておられる。熊本県においても太陽光発電の普及に関する目標を協議している。

本田技研熊本製作所で太陽光電池が製造されることになれば、当然、大津町としても地元企業支援の観点から、また町民へのPR効果の観点からも公共施設への導入を積極的に計画していきたい。



中 体 連

子どもの権利条約は 学校で生かされているか

教育長／町として実践している



鈴木ムツヨ議員

子どもの権利条約が日本で批准されて12年が経ったが、54条で構成された権利は生かされているか。
従来は子どもは保護される存在として考えられたが、条約は子ども自身

を主体的に積極的に権利を行使していく存在として捉えている。学校では教育を受ける権利、自由に自己の意思を表明する権利は守られているか。不登校児・障害児への対策はどうか。

宮崎教育長

小学校高学年の社会科と中学3年の公民の授業で条約を学習。

子どもは国の宝、大津町の宝であるので、子どもの基本的な権利を守り健やかに成長できるように育んでいかなければならないと考えている。

保護者や地域住民、児童生徒を対象とした教育相談や、児童虐待防止ネットワーク、各学校では、体罰に関する研修会や、不登校、いじめ等に関する連絡協議会の活動など教育委員会や町の福祉関係者や教育関係者が中心となって、子どもの人権を守るため町として実践している。

通学区域の拡大への対応は

教育長／学力をつけてやりたい

県立高校の通学区域8区の中で大津町は菊鹿学区に該当。大津在住の大津・翔陽高校への入学者の割合はH17年40・6%、H18年43%でした。学区拡大は益々地元高校への入学が難しくなると思うが、町の取り組みは。

宮崎教育長

大津町では全県1区が大津高校の理数・体育・美術科と翔陽高校で菊鹿

学区が大津高校の普通科に近い将来8区から3区、更に1区になる方向の回答が出されている。

今、私の立場でのやるべき仕事はこの学校にしろ、自分が望む、行きたい学校に行ける力をつけてやることだと思う。

※全県1区とは通学区域の入学制限がないこと。現在は県下で8区域に分けられている。

学校での帰国子女への支援策は

教育長／ハンディは取り除いてやりたい

海外で生活している5万人の子も達が帰国した時、国語の力がないまま日本に帰ってくる。教育的配慮はどうなっているか。

宮崎教育長

海外の学校での生活習慣や授業内容等に、日本の学校とのギャップが大きく、その児童生徒に対してサポートが必要では



ないかと理解している。全てが同じ状況ではないので、そういう方が現われた時に一番良い対応策を検討していきたいと思う。

	大津在住の生徒の割合(%)			H18年／通学所要時間(人)			
	H16年	H17年	H18年	30分	60分	90分	120分
大津高校	28	27	27	518	406	54	2
翔陽高校	15	15	15	276	458	100	8



手嶋 靖隆議員

地球温暖化ということ

防災計画の見直しは 町長／計画は毎年見直している

もあり、大型台風が何度も発生している。大自然の脅威を教訓として防災意識の普及、自主防災組織の育成強化、防災備品の備蓄の対策はどうなっているか。また防災情報の収集伝達、中樞機能を備えた防災セン



土手がくずれた町道瀬田駅吹田線

最終処分場の有効活用を

町長／一部貸付を検討

平成17年9月杉水の埋立処分の跡地が菊池環境保全組合から無償譲渡されたが、今後の有効活用はどうなっているか。

ターを設置する考えはないか。

家入町長

毎年6月の梅雨に入る前に水防会議の中で防災計画を策定。ミニ特区事業関係の中で30行政区が防災訓練や防災マップを作っておられる。備蓄は水を5000本と乾パンを用意。避難場所等は社協と十分連携をとりながら対応する。大きな災害については自衛隊の42連隊関係等と連携し対応。

家入町長

16年度のゴミの処分料は約3億9118万円がかっている。跡地については、ガスの問題、その他管理上の問題が出てきたのでグラウンドゴルフとの案が出たが見合わせていたところ、有価物回収業の石坂グループより一部借入の申し出があり7月より貸し付けていきたい。内容は、リサイクル資源の保管と選別及び加工施設関係等を設置。西側は、防災上の災害の瓦礫関係等を置く場所。条件として不法投棄の品物の選別等全般的な施設の管理。
金額は月25万円位。

遊休農地を市民農園に

町長／農業委員会と相談

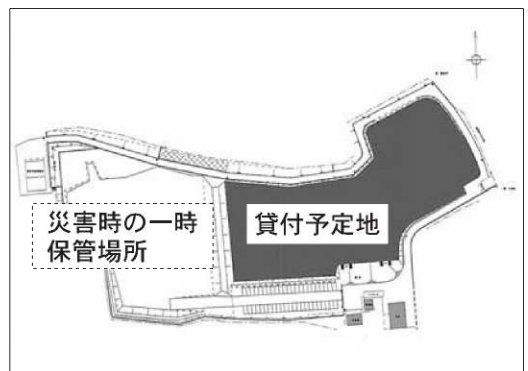
120ha程の遊休農地を市民農園として利用できないか。小中学生の農業体験。障害者や高齢者の健康増進の為に福祉農

家入町長

岩戸の里の方の市民農園は58㎡の42区画で高齢者や障害者分は8区画。毎年満杯だが一般的に開放している農園は若干余っている。

借り手は天津町が11人、熊本市27人、菊陽3人、他町村より2人。

今後は、農業委員会と相談し、町ではなく、地域の方々に開放していただける様な方向で農園の方々の協力が得られればと思う。



杉水最終処理場跡地

園。農業をやりたいニーズが高まっていると思うがいかがか。



大津駅

駅周辺地域再開発を問う

町長／ビジョンづくりに努めたい



長谷部健一郎 議員

駅周辺再開発に対する基本的な方向性及び、それを実現する上での進め方、住民参加の必要性。

家入町長

全体的なまちづくりには、20年以上年数がかかると思っている。南の区

画整理も20年以上かかっている。大きな事業にはお金と時間がかかる。長期計画の中で一つ一つ片付けていくのが大事だと思う。そのためには手直しのいらない、本当にみんなが理解できるような交通体系、高齢者や少子化における生活道路の利便性も考えながら、駅をどう造り上げていくか。またこの駅から出発するいろんな開発がされてくると思う。本年度中は、議会の皆さんにも報告をしながらビジョンづくりに努めたいと思っている。その時は議会の方の知恵をいただきながら、本当の駅、まちづくりにご協力をお願いしたいと思っている。しばらくは、そういう案作りとともに、皆さんの意見を聞いて、そしてすばらしいまちづくりの第一歩を踏みだしていきたいと考えている。

公共事業に関わる安全確保は

町長／技術力のレベルアップをはかる

家入町長

建築確認関係等については、民間に対する確認申請の問題とか、やってはいけない人が書類を書き換えたとか、いろいろな問題がある。金儲けに走りすぎて本当の意味で

①建築の耐震偽装の問題に端を発した一連の公共施設の安全確保について
②品確法施行による町の検査体制。



耐震強度は万全

の建物や公共関係に対する責任の度合いが薄れてきていると思う。町としても、今後の対策については、十分担当課長に申し伝えてある。工事発注についても設計の段階が一番大事であり、その設計に通じる職員をつくりながら、現場における調査を抜き打ちでやりながら確実な報告書を作り上げなければならない。

中山都市計画課長

今まで単純に安ければよいというのがあった。公共施設においては品質

の確保と共に価格も総合的に評価することが最重要ということで品確法ができていていると思っている。そのための検査であるが、町の職員で対応できる部分と、特殊なもので職員で対応できないものがある。このあたりについては県で新たに連絡会議ができていて、そこで協議して、また支援を受けながら対応していく。職員についても研修を深めながら更なる技術力のレベルアップを図っていき

学校の整理整頓に専門家を

教育長／整理整頓は基本的生活習慣



藤森昭二朗 議員

大津町の小中学校を回ってみて校舎のまわり、運動場のまわり、教室に使った品物が野ざらし状態で目に付いた。掃除したあとの落ち葉、ちり等は校庭の隅に大きな穴を掘り、うずたかく積まれている。人間形成の原点は整理整頓が必要ではなからうか。町は民間の方で子どもと一緒に校庭の整理整頓の専門の方をおいたら。

落ち葉等は現代の環境教育にあった土にもどす堆肥舎を作って教材としたら。



親子で美化作業

宮崎教育長
学校では、子どもたちの基本的生活習慣である整理整頓ということは常に指導している。大津中学校においては、本年度、学校で備品整備をし、要らなくなったものを今整理している。また菊阿中学校が大津中学校と合併したので菊阿中学校からたくさんの品物を大津中学校に持ってきて、まだ整理途中である。学校には、昔のように専門の用務員の配置はなくて、すべて子どもたちや先生方、また保護者の力を借りて環境整備をしている。週一回でも専門の方が来られ点検していただくだけでも、環境面はとても良くなると思う。検討する価値は十分ある。

環境教育の一環としての落ち葉等の再利用、堆肥舎のことは学校の実状等もあるので、各学校長とも相談の上、可能であるかどうか考えていきたい。

まちの顔、大津駅周辺の整備は

町長／早めに整備していきたい

町で大津駅周辺の説明会を開催されて色んな意見も聞かれたかと思う。南北の自由通路も考えておられるかと思う。何事もお金次第、高架橋にして駅をつくるのも一案、駅をオークス広場近くに移動させるのも一案、そして現在ある駅をつきぬけて駅通りをジャスコ前に延ばせば南北の活性になりはしないか。何十年、

何百年を見ずえて計画しては。町民はもとより、企業、大津駅周辺の町村の皆様の大津駅周辺利用も視野に入れた計画を。そして、国道57号と豊肥線の間を東西にセントラル病院より大津小学校まで東西の道路を通行できるようにしたら町の活性になると思う。

家入町長

大津駅については、菊陽の関係、あるいは阿蘇、その周辺の皆さんが大津駅を使っておられるのは確かであるし、それに対しての駐車場の整備というか役場の南の駐車場に

についても、毎朝うちの職員が朝早くから出て、指導をしているような状況下にある。そのような利用になつているので早めに整備をしなくてはならないと考えている。

東西の幹線道路というか区画整理の都市計画一部道路ができていて、西と東は行き止まりである。総合的な計画の中で今回も検討したが、各地域の生活道路整備がまず必要だと思った次第である。東西線の活用は大津町の文化関係等を結ぶ生活の道路ではあるが、時間がかかると思う。



大津駅